

目的 演者らは担子菌類の成分分析を行っているが、今回は長野県及び群馬県等を中心
に主として菌床栽培で生産され、ほぼ年間を通して市販されているナメコ (*Pholiota nameko*)
の各種元素、粗脂肪、遊離脂肪酸、糖質、アミノ酸、有機酸等を中心に検討を加えた。

方法 群馬県倉荊村で購入したのものについて傘の大きさにより大 (17mm以上) 中 (10~
16mm) 小 (10mm未満) に分け、それぞれ傘、茎、基部に分割して各成分を調査した。水分
は乾燥減量、元素のうちCu、Fe、Zn、Mg、Na、K、Ca、Mgは原子吸光法、Pはバナドモリ
ブデン酸法で行った。遊離脂肪酸及び有機酸はGLCで検討した。糖質はフェノール硫酸法
TLC及びGLCで検討した。遊離アミノ酸はアミノ酸分析計で測定した。

結果 水分及び灰分は大きさ及び部位別では大きな差はみられず、水分は93~95%、灰
分は0.2~0.4%であった。元素はKが4~122mg%と最も多く、その他P、Na、Mg等が比較
的によく含有されていた。部位別ではK、Na等は基部に多く、P、Mg等は傘に多い傾向が見
られた。粗脂肪を部位別に見ると基部に90~152mg%と最も多く、次いで茎、傘と上部に行
くに従い少くなる傾向が見られた。遊離脂肪酸を組成で比較すると、いずれの部位もリノ
ール酸が約50%、パルミチン酸が約30%、オレイン酸が約15%であり、これらで大半を占
めることが分かった。水で抽出される糖質は1.1~2.0%であり、茎及び基部に多く傘に少い傾
向が見られた。糖アルコールはグルシトールが検出された。単糖はアルコースが基部に多
く含有される傾向が見られた。遊離アミノ酸はGlu、Ala、Thr、Asp、Urea、Gly、Val、Pro、Ser
等が多く含有され、部位別に比較すると傘に多く含有されているものが多いが見られた。